

ガラスの王女クリスタ

2019年3月24日



企画.. f u m e
イラスト.. ござる様
シナリオ.. 水月堂様

目次

メインストーリー

1 Chapter1 出会い

2 Chapter2 森の奥の屋敷

3 Chapter3 舞踏会

短編集

4 フェラ責め

5 言葉責め

6 種付けプレス

7 上品えっち

8 クリスタ とどめボイス集

ナレーター

王子であるあなたの名の下に舞踏会が開かれた。

そこであなたはクリスタという美しい女性を見初め、
ダンスに誘う。

ひとしきり踊りを楽しんだ後、

彼女はあなたの手を引いて個室へと向かった……。

クリスタ

ああ、王子様……。

わたくしと踊っていただき、本当にありがとうございます。
噂通り、とっても優しくて素敵なお方……。

実は……

ずっと前に、町であなたをお見かけしたことがあるのです。
優しい笑顔を浮かべ、民に手を振るあなたを……。

その時から、一度だけでもお会いしたいと思っておりまし
た。ですがわたくしはただの女で、あなたは一国の王子……。

決して結ばれることはない。

それどころか、二度とお顔を見ることすらできない。

そう思っております……。

けれどもこうして、あなたさまに会うことができ、
踊りに誘っていただけるなんて。

わたくし、天にも昇ってしまいそうな気分ですわ。

ああ、素敵な王子様。

どうかその愛らしいお顔を、もっと見せて下さいませ。

ああ……ああ……っ！

なんて穏やかなお顔をしているのでしょうか。

優しく、温かな光をたたえた瞳……。

そのような目で見つめられてしまうと……

どうしようもなく身体の奥が疼いてしまいますわ……。

はあ……♡

あなたさまとこうしてお話することができて、
とっても感激しております。

王子は……わたくしと共に過ごす時間を、
楽しいと思ってくださるでしょうか？

……ああ、そんな……。

最高に幸せだなんて、わたくしにはもったいないお言葉。
光栄ですわ、王子……。

(2秒間)

……あら？ 王子？

何をそんなにじっと見つめているのですか……？

まあ……わたくしの大きな胸に興味がおありなのですね。

うふふ……無理ありませんわね。

見たところ、このお城にはわたくしほど胸が大きい女性はいないご様子……。

ふふつ、良いですよ。

どうぞお好きなだけ……

わたくしの下品なおっぱいを見つめてくださいませ。

……どうされました、王子？

まあ、痛いところがあるんですか？

一体どこが痛むのか、このクリスタに教えて下さいますか？

……おしっこを出すところ、ですか

ああ、王子のおちんちんが痛いんですね。

見せていただいてもよろしいですか？

衣摺れの音

あらあら、ずいぶんと腫れていて……。

これは、とても痛そうですね。

……えっ？今までおちんちんが腫れたことはなかったのですか？

それでは……

わたくしの体で、初めておちんちんを腫らしてしまった、

ということですね。

ふふつ、うふふ……とても光栄ですわ……

ええ、これは決して病気でも恥ずかしいことでもないですよ？

王子が大人の男性になるために必要なことなのです。

このおちんちんが腫れることで……

お世継ぎを作ることができるようになるのですよ。
だから怖がることはありません。

ですが……ずっとこのままではお辛いでしょうね。

右耳で囁く（無音）

わたくしでよければ

王子のおちんちんを慰めてさしあげますが……

いかがでしょうか？

大丈夫ですよ、決して痛いことなどいたしません。

それどころか、身も心もとろけるような良い心地になりますわよ。

通常的位置に戻る

うふふ、その期待に満ちた目……とつても可愛い♡

不肖ながら……

このクリスタが、王子様にオナニーを教えてさしあげますわ♡

（3秒間）

唇をそつと開けて下さいますか。

そうです、とつてもお上手……。では、失礼致します。

ちゅっ……んちゅっ、れろお、んぶちゅっ♡

んじゅるるるっ♡

っはぁ、王子の、唾液、とつてもあまあい……。♡

んちゅっ、やっぱり、高貴な、ちゅっ、お方の体液は……

っちゅるるっ、素晴らしいですわ……。っ♡

あはっ、王子の小さな子どもおちんちんが……

どんどん大きくなってらう……♡

早くう、

大人のおちんちんになりたくって仕方がないんですね……♡

んっはあっちゅっ、ちゅちゅっ、はあん……♡

王子のおちんちんにい、触ってみてもいいですかあ？

いいですよねえ？

っあっ♡

もうこんなに硬くなっていらっしやるわ……♡

大人顔負けの、立派なおちんちんになってきていますね♡

どうか恐れずに……わたくしに身を委ねて下さいませ。

この熱くて硬いおちんちんを、どうにか楽にしたいのでしょうか？

その果てにある快楽を、その身体で感じたいのでしょうか？

わたくしが全てあなたさまに教えて差し上げます。

城の教育係たちが教えてこなかった、

あなたさまが真の大人になるための秘密のお勉強を。

オナニーさえも知らず、

性欲というものが何かもわかっていない無垢で純粋な王子……。

ああ、堪りませんわあ……

んじゅっ♡ ちゅるるるっじゅぶぶぶっ

王子の甘くて柔らかい舌……

本当にこのまま食べてしまおうかしら。

ふふっ、王子。

おちんちんが今にも爆発しそうになってしまいましたね。

先っぽの部分が赤くテラテラしていて……とってもいやらしい。

では上下に擦りましようね……しこしこ、しこしこ♡

あははっ！ 気持ち良さそうな声え……。

良いですよ、もっと素直に感情をさらけ出して……。

気持ちいいって感じていることを隠さないで……。

そうです、もっともっとエッチに、

いやらしく喘いでください……

ああ、ああ……

王子の蕩けた目と開いたお口が、とっても可愛い……

これがオナニーというものですよ。

もしまたおちんちんが痛くなった時は、

こうしておちんちんを握って、上下にシコシコすれば良いのです。

もっと気持ちよくなりたいですか？

いいですよ。では。上着も脱いで……。

あら、とっても可愛い乳首。可憐な花のつぼみのよう……。

ここをいじじすると、もっともっと気持ちよくなるのですよ。

ほら、こうやって、くりくり♡ くりくり♡

あらっ、可愛い声が出てしまいましたね♡

こんなところをくりくりされて

気持ちよくなってしまうなんて、

王子には素質がおありのようですね♡

指で円を描くように、くりくり、さすさすと優しく撫でて、

乳首の先を転がして……。

左耳で囁く（無音）

……どうです、コリコリしてきたでしょう？

おちんちんと同じように、ビンビンに硬くなっていくでしょう？

これが気持ちいいってことですよ♡

これでまた一歩、大人に近づけましたね。

右耳で囁く（無音）

快感の波がどんどん迫ってくるでしょう……？

その波を拒んではいけません。

喘いで、悶えて、体の奥から湧き上がる悦びを受け入れて……？

はあっ。もっともっと、喘いでえ！

わたくしにあなたの痴態を見せてえ！

発情した獣のように、一心不乱に腰を振ってる姿を見せてえ！

かわいい乳首を弄られて、女の子みたいに悶えてえ！

通常の位置に戻る

そう！そうです！

びゆくびゆくとおちんちんの先っぽから何かを出したいでしょう、

怖がらないでください、それは気持ちいいことなのですから。

だから恐れず、おちんちんの疼きを解き放ってください。

腰がムズムズするでしょう、

乳首がムズムズして、お腹が熱いでしょう。

おちんちんから何か出したいでしょう。

ええ、出して、初めての精液を、

どうかクリスタの手の中で……！

わたくしに、あなたの熱くて蕩けてしまいそうな

初めての白濁淫乱種付け汁をかけてえ！

伊ってください、わたくしの王子……！

(射精ポイント)

(5秒間)

ふふ……これでようやく、大人になりましたね。
おめでとうございます、王子……♡

(12時を知らせる鐘の音)

まあ！もうこんな時間……。

もつと王子と共にいたいのですが……

わたくしはもう、帰らなければなりません。

ああ、愛しき王子様……

あなたとお会いできて、本当によかった……さようならっ。

(走り去っていく靴音。)

(カラン、とガラスの靴が脱げて落ちていく音と共に
鐘の音がフェードアウト)

ナレーター

クリスタが去った後、あなたは必死に彼女を探した。

そして深い森の奥の古びた屋敷で、ついに彼女を発見する。

あなたは彼女の前に跪き、その美しい足にガラスの靴を履かせた。

熱い視線がまじわって、二人は激しく抱きしめあった。

そしてクリスタはあなたの手を引きいて寝室へと招き入れた……

クリスタ

ああ……またこうして王子と触れ合えるなんて……。

もう二度とお会いすることはできないと思っておりました。

あの時の逢瀬（おうせ）は美しい思い出に変わり、

その思いを抱いたまま生涯一人で生きていくのだと……。

けれども、

まさか王子自らわたくしの元へ会いに来てくださるなんて！

まるで夢のよう……。

けれども……ずいぶんな長旅でしたでしょう？

わたくしのベッドで申し訳ありませんが、

しばしお体を休めてくださいませ。

さあ、どうぞこちらへ。

（ベッドのシートが擦れる音）

(スプリングが軋む音)

……あら？ 王子……。

右耳で囁く(無音)

(囁き混じりに)ここ……

おちんちんがとっても腫れていらっしやるわ。

通常的位置に戻る

ふふ……顔が真っ赤……。

わたくしがいない間も、

教えて差し上げたオナニーをなさったのですか？

良いですよ、たくさんして。

気持ちよくなることは、悪いことではないのですから……。

それに……おちんちんが腫れてしまうのは、いやらしい気持ちになつた時だけではないのですよ。

たとえば……そう、こうして王子がお疲れになつた時にも、おちんちんが腫れてしまうこともあるのです。

ですから、わたくしがマッサージをして差し上げますね。

足も背中も、すっかり強張っていますし……。

特にこのあたりが……

つつー。

びっくりしましたか？ 急に背中を指でなぞられて。

ふふ、とっても可愛らしい王子……。

さて、王子の体のどこがお疲れか、

今のですっかり把握できましたわ。

え？ まるで魔法みたいだ、ですって？

ふふっ、そうですよ。

わたくしは不思議な力が使えてしまうんです。

この力で、王子の身も心も、すべて癒して差し上げますわ。

では王子、お手数ですがこの下着を着けてくださいますか？

少し透けていて、恥ずかしいかもしれませんが……。

マッサージのオイルを浸透させるためには、これくらい薄い方がいいのです。

ですから、少しだけ我慢してくださいね？

(きゅぽん、とオイルの蓋を捻り開ける音)

このオイルを全身に塗り付ければ、

身体のコリをほぐし、心を落ち着かせることができます。

(2秒間)

さあて……早速つけさせて頂きますね。

(ぶちゅつぬりゅつというオイルが滑る音)

(以降、継続的にぬりゅにゆるというような音が聞こえている)

まあ、本当に凝っていらつしやるわ。

やはり王子という立場は、心労もたくさんあるのでしょね。

けれども今はひたすら、わたくしの手と身体でマッサージされる快感を、享受してくださいればいいですよ。

ふふ、背中も少しずつ柔らかくなっていますね、

でもまだまだ硬い……。

僭越(せんえつ)ながら、このわたくしの胸で、

特別なマッサージをさせていただいてもよろしいでしょうか？

あなたさまが以前じつと見ていたこの大きな胸……

全身で堪能してください。

んんっ♡

王子の背中にわたくしの乳首が擦れて、

とっても気持ちがいい……っ♡

はぁっ、でもいけませんわ、

王子を気持ちよくして差し上げないと……。

左耳で囁く(無音)

んう♡ 王子もずいぶん蕩けた顔をされていて……

とっても気持ちよさそうですわね♡

口を大きく開いて、よだれをとろとろ垂らして……

もうすっかりマッサージの虜ですね♡

通常的位置に戻る

はぁん……♡

おちんちんも今までにないくらい勃起していらっしやるわ……♡

王子の勃起おちんちんを見ていたら……

わたくしの淫乱おまんこが疼いてしまいました……。

早くおまんこの中に、王子のおちんちんを入れたくって、

おかしくなってしまういそうなのです。

王子もわたくしの中に入れてしまいたいですよね？

何のことかよくわからない？

わたくしのここ……見てくださいますか？

すぐ濡れていて、ぬるぬるしているでしょう？

このびらびらしたところを、

こうやってくばあって開いて……んんっ

この奥に、あなたさまの硬くなったおちんちんを入れて、
動かすんです。

そうしたら、わたくしもあなたさまも、

気持ちよくなれるのですよ

ああ、もう、すっかり蕩けた目をして物欲しそうに

わたくしの淫乱びしょ濡れおまんこを見てる……

わたくし、我慢できませんわ！

(ぶじゅつと一気に唾え込む音)

んっはあああああんっ

王子のおちんちん、入ったあ……

どうです、王子……わたくしのおまんこの中は……。

うねって、締まって、とっても気持ちいいでしょう……？

あはっ、もう早速イッてしまわれたの……？

けどそれだけでは我慢できないでしょうし、

もっと気持ちよくなりましょうね

んんんっ おほっ はあっはあああっ

王子のおちんちんがわたくしのおまんこの奥に

ぐりぐり当たって気持ち良すぎますわあっ

このまま王子は身を委ねてっ

わたくしのおまんこのなかに飲み込まれていけばいいのっ

あはあっはあっはああんっ

王子のガチガチおちんちん、中でどんどん大きくなっていくっ
またイキますか？

いいですよ！

もっともつとわたくしのおまんこに子種汁を出してっ

ああっおちんぽ汁びゆくびゆくだしてっああっ

（射精ポイント）

っはあ、王子の精液、わたくしのお腹の中に広がってるう……。
でもわたくし……

まだイっておりませんのおっ！

だからもう少しだけ、お付き合ってくださいね？ウフフフツッ！

王子のおちんちんもお、まだまだ硬いですし……、

ほらあつ。

おまんこにすりつけるだけでイきそうですかあ？

いいですよ、

おまんこの奥に出さなくても、吐き出していいんですよ。

ほら、すりすり、じゅぷじゅぷ

おまんこの外側も、ぬるぬるで気持ちいでしょう？

わたくしのおまんこでオナニーして、

もう一回イってくださいねえ

……ふふ、たあっぷり出してしまいましたね……

でも、わたくしも気持ちよくなりたいですか、らっ

（一気に腰を下ろしぶちゅんっという音がする）

（より一層激しい水音）

（パンパンという激しく腰を打ち付ける音）

はあんっ

あああんっ♡

王子のおちんちん気持ちいいいつっ！

わたくしのおまんこの中でびゅくびゅくしてっ！

またおちんぽからミルク出したいって騒いでるううう♡

もっ！もっ！と頂戴！

……おほおおっ！おおおおおおおおっ！

赤ちゃんの素がつ

王子の可愛いキンタマから運ばれてきてるうっ！

わたくしを孕ませようとして暴れてるう♡

まるで獣っ♡

獣みたいに交尾してるううううううううううっ♡

ああはああっ♡

王子い、獣のパパになって♡

このままああああ！一番濃い精液を出してっ！

あああっ！っ！グうううううっ！！！！

(射精ポイント)

……っはあ、

ああ……王子、気を失って、しまいましたか……？

ふふ、でも、気持ちよかったでしょう？

(5秒間)

(朝が来た。小鳥のさえずりが聞こえる)

おはようございます、王子。よく眠れましたか？

……あの、王子。

わたくし、あの後ずっと考えておりました。

わたくしのようなものが

こんなことを思ってはならないのかもしれませんが……。

どうか、わたくしと結婚してくださいませんか？

以前からわたくしは……

あなたさまをお慕いしておりました。

だからこそ、ずっとそばにいたいのです。

わたくしのようないやらしい女は、お嫌いですか……？

(3秒間)

……本当に、よいのですか？

本当にわたくしと結婚してくださると？

(喜色を露わにした声で)

まあ……っ！嬉しいですよ……！

ありがとうございます。愛していますわ……王子。

(ちゅっというリップ音)

では明日の夜、舞踏会を開きませんか？

お城や国の皆様に、結婚の報告をしなければ。

ええ、もちろん一番美しい格好で参りますわ。

あなたの妻として恥ずかしくないよう……

一番、美しい格好で、ね。

3. Chapter3 舞踏会

ナレーター

ついに舞踏会が開かれた。

王子の前に現れたクリスタは、

美しくも淫靡なドレスを纏っていた。

だが、その姿を見た王子や人々は、

彼女から発せられる謎の力によって

動かなくなってしまう……

クリスタ

ああ……王子、御機嫌よう。そして皆様も。

わたくしは王子の妻になります……

サキュバスの末裔の、クリスタと申します。

以後お見知り置きを……。

わたくし、ずっとずっと王子のことを愛しておりましたの。

どうすればわたくしのものにできるか、

毎日毎日考えておりました。

そうしたら……

王子もまた、わたくしを愛してくれて……

妻として選んでくださいました。

そのうえ、こんなにもたくさんの方に

結婚を祝福していただけるなんて……。

わたくしは本当に、世界で一番の幸せ者ですわ……。

うふふ、皆様とても驚かれていますみたいですね。
まさか万民に愛された王子の妻が、
こんな淫らで不埒な、妖魔の末裔だなんて……。
あらあら……。いくら抵抗しようとも無駄ですよ。
わたくしの瞳はどんな生物でも魅了することができます。
わたくしを一目見た者は、
決して自分の意志で動くことはできませんわ。

左耳で囁く（無音）

うふつ、うふふふ……。！

ああ、王子……。とっても愛らしいひと……。
わたくしがサキュバスの末裔でも、愛してくださいますか？
……。ふふ、そう言ってくださると信じていましたわ。
わたくしも、未来永劫あなたを愛すると誓いますわ……。

通常的位置に戻る

さあさあ、皆様。

どうかわたくしたち夫婦の踊りをご覧になってくださいませ。
サキュバスと人が獣のように交わるその様は……。
さながら踊りのようですからね。
王子、お洋服を脱がせてあげますわね。
あなたさまも身体が動かないでしょうから……。
ええ、いつものように、わたくしに全てお任せくださいませ。
まずは上から……。ふふ、もう乳首が硬くなっていますよ。
早く触れてほしいと、興奮しているのですね。
では、あなたのご期待通り……。
れろっれろろろっちゆるんっじゅぷっ。

王子の乳首がわたくしの口の中で
どンドン硬くなっていますわ……
んちゅっちゅぷちゅぷちゅぽんっ。

次はわたくしの、きちんと手入れして紅を塗った爪で、
くりくり弄りましょうね。

くりくり、こすこす。

うふふ、気持ち良さそうな声……。

お父様やお母様の前で、そんなはしたない声を出して……
本当に王子はえっちなんですから。

右耳で囁く（無音）

おちんちんもすっかり硬くなっていますね……。

服の上からすりすりしても、熱さと硬さがわかりますわ。

こっちも乳首と一緒にすりすりしましょうね。

すりすり、すりすり、おちんちんの先っぽをぐりぐりっ。

頭が真っ白になってしまうでしょう？

直接おちんちんの先っぽを弄られたら……

どうなってしまうのかしらあ。

通常的位置に戻る

さあ王子、下も全部ぬぎぬぎしますよ……。

あはっ、凄い勢いでおちんちんが飛び出してきたあ。

でもまだ触ってあげません……後ろを向いてくださいな、王子。

お尻の穴がわたくしからすっかり見えていますよ……

ヒクヒクしていて、可愛らしいですこと。

ふふっ、ここは排泄するためのだけの場所じゃないんですよ。

ここに、わたくしの舌を入れますよ……。

大丈夫ですよ、汚くなんかありません。

王子はわたくしが与える快感に

身を委ねてくださるだけでいいのです。

はあ……っ。んちゅっにゆるるるっふちゅちゅっ。

んぷあ、素敵なアナルう……。

わたくしのおまんこ、びしょびしょに濡れてしまいますわっ。

もっと奥までわたくしの舌を入れますね。

んじゅじゅじゅっじゅっぽんっれるるるっ

じゅぶんっじゅぞぞっ。

おちんちんを触られる時とは

違う気持ち良さがあるでしょう……？

アナルがヒクヒクしてだんだん性器としての自覚を

持ち始めたようですね。

では、わたくしの指もあなたの生まれたての性器へ

お邪魔しますね。

右耳で囁く（無音）

はあい……ぬぷぬぷ入って行ってますよ。

気持ちいいでしょう、

もっと大きな声を出していいんですからね。

ぬぷぬぷ、くちゅくちゅ。

まずはわたくしの指の形を覚えてくださいね。

わたくしの指があなたの小さな前立腺を擦って……

あはっ。今日の一番気持ちよさそうな声っ。

まるで少女のよう……もっと激しく動かしてしまいますね。

はあい、ぬつぶぬつぶ。ぐちゅぐちゅぐりゅぐりゅ。

女の子になってくださいませ、王子。

もつともつとわたくしを感じてください、そして快感に溺れて。

[通常の位置に戻る](#)

……でもまだイかせてあげませんわ。

王子の精液は、すべてわたくしのおまんこが頂きます。

何もかも飲み込んで……あなたはわたくしのモノになるのです。

さあ、王子。

わたくしが動いて差し上げます、横になって……。

皆様もどうぞご覧になってくださいませ。

わたくしと王子の婚姻生ハメセックスを！

可愛い王子が、サキュバスに騎乗位されて

よがり狂うその姿を、目を覆わずに見てください！

(じゅぶぶぶ、という激しい淫らな水音)

(以下、水音と腰を打ち付ける音が聞こえる)

んっんはああああんっ。

王子のガチガチちんぽおおおっ。

おまんこの中で爆発しそうなくらいギンギンで気持ちいい。

んっんんうっおほほおんっ。

はあっ、あはああんっ！

王子っ王子いいっ！わたくしの愛した可愛いひと、可愛い王子、

あはああんっ。

わたくしのおまんこはきもちいいですかあっ？

ぬるぬるでぐちゅぐちゅのおまんこの中で
溶けてしまいそうですか？

ああ……このまま溶かしてしまいたい……。

わたくしの中に溶けて……

そのまま溺れてしまえばいいのに……っ。

はあっ、ああんっ。

王子、唇を突き出してっ、そう、お上手。

んっじゅるるるるつれろおお、んじゅるるるぶちゅっ。

王子のあまあい舌……

とっても柔らかくって食べてしまいたい……。

れろろろっじゅぶんっじゅぶぶっじゅぞぞっ。

はあっ、あはああっ、んっほおおっ。

このまま王子をデイルドのようにしてっ！

道具のように扱ってっ！イきたいっ。

はああ、王子っ！気持ちイイっ！

おほおおんっんはあっははああ。

このまま二人で、一緒に行きましようっ。

すべて解き放って……どこまでもイってしまいましよう。

……おおっ！んほおおおおおっっ。

イぐううううううううっ。

（射精ポイント）

王子のギンギンオチンポからいっぱい精液が出てりゆうううう。
子宮が降りてっ赤ちゃん孕んじやううう。

あはあっイってる、王子も、わたくしも、なんにもかも……。

（5秒間）

はあ、は……ああ、王子……。

やっと手に入れた。

これで、身も心もすべてわたくしのもの……。

ああ、わたくしの愛しい王子……。

これからずっとずっと……一緒にですよ。

(軽いリップ音)

ふふ、愛しています、わたくしだけの、王子……。

クリスタ

左耳で囁く（無音）

うふふ、王子……。

もうずいぶんおちんちんが痛いでしょう？

一カ月オナニー禁止などと、酷なことを申し上げましたが……。すべてはあなたをもっともと

気持ちよくして差し上げるためです。

よく我慢できましたね。いい子いい子ですね。

約束通り、これから最高に悦ばせちゃいますからね。

右耳で囁く（無音）

その前に……このお薬を飲んでくださいますか？

これはわたくしが調合した魔法のアイテム……。

王子のおちんちんをもっと大きくして、

何度でも射精できるようになる素敵な薬ですわ。

さあさあ、一滴も残さずに飲み干してください。

通常的位置に戻る

……うふふ、どうですか？

おちんちんがはちきれそうになってきたでしょう？

溜めに溜めた性欲を、

すべてクリスタのお口にぶちまけてくださいね。

さあて、久方ぶりのおちんちんのご対面……。

あはっ、普段のおちんちんの何倍もの大きさになっていますわ。
なんてご立派……

いつもの奥ゆかしいおちんちんも素敵ですが、

この怪物みたいにいきり勃ったおちんちんも素敵……。

では早速……

ちゅっぶちゅっはあ、亀頭が熱くてギンギンで……

先走りも濃厚でくらくらしすわ。

んじゅっじゅぶぶっじゅるるるっ。

裏筋も……れろおっ、れろろろっ。ふはあ、ぶじゅっ。

極悪おちんぽ、全部啜えこんでしまいますね。

あーん、んむっんぐっぶちゅるるるるっ

じゅぞぞぞっじゅるるるっ。

れろお、

はあ、王子の精液を作るキンタマも大きくなって……。

やわやわ、ふにふに……くすぐたいですか？

じゃあ、これはいかがですか？

あむっちゅぷんっちゅうちゅう……

れろっれろおおっじゅっじゅぶっ。

キンタマしゃぶられるのも気持ちいいですね。

変態なんですから。

さあて……ではキンタマをくにくに触りながら

竿の方もおしゃぶりしますよ。

はあっ、じゅぶっじゅるるっじゅぞぞぞ

っじゅぽぽじゅっぷっ

はあっはあっ

王子の極悪モンスターチンポがもつと大きくなっつくっ

キンタマがドロドロザーメンをもてあましてっ

早く出したいって震えてるっ

じゅぶぶっじゅぞっれろろっんれろおっ

はあ、ああ、精液の匂いがしますっ。

そのままイくんですねっ。

わたくしに口だけで責められて、犯されてっ

そのまま無様にイッてくださいっ

んじゅじゅじゅっじゅぞおおっ

どうぞイってくださいませっ

(射精ポイント)

(2秒間)

……気持ちよかったですか？でもまだギンギン……

ふふっ、いいですよっ

あなたが満足するまで、そしてわたくしの

気持ちがすむまで……。

何度でもお付き合いしますからねっ

クリスタ

どうしました、王子？

今日はいつもとは違ったセックスがしたい、ですか……。

……わかりました。

それでは、このようなプレイはいかかでしょうか。

(3秒間)

うふふつ……王族のくせに淫らなことがだ〜い好きでえ……。

わたくしのような妖魔に骨抜きにされてえ、

恥ずかしくないのですかあ？

さあ、そこで跪いてください。

あなたは可愛いクソ豚ちゃん……。

性欲で頭がいっぱいの、スケベで無様で不埒なケダモノ。

そのようなものがわたくしと同じ目線にいて

言いわけがないでしょう？

ほら、すぐにひざまずいて。

(3秒間)

右耳で囁く(無音)

……ねえ、子豚ちゃん。

あなたは民を導く立場でありながら……。

淫らな行為に耽り、

快感をむさぼるだけの変態絶倫男ですよねえ？

恥ずかしくないんですかあ？

このお……へ・ん・た・い・さ・ん。

こんなに罵られてるのに、息を荒くして……

もう、どうしようもない子ですねえ。

うゝん……

どうすればあなたは王族としての自覚を取り戻せるんですかあ？
ねえ、ねえ？

[通常の位置に戻る](#)

……あゝつ、やつぱり無理かなあ。

豚ちゃんはある、

生まれながらにして真性のド変態クソ王子ですからねえ。

私い、知っているんですよ。

豚ちゃんが、表敬訪問にきた隣国の姫のパンツを盗んで……。

それを穿いてオナニーしていたことつ。

ウフフツツ！

本当にどうしようもない子おつ！

私というものがありながらあ、

ヨソのお姫様にまで欲情しちゃうなんてつ。

[左耳で囁く（無音）](#)

……おやあ？ねえ、なんで興奮してるのお？

なんで汚いちんぽを硬くさせてるのお？

ねえ、なんで？なんでえ？

……もう救いようがないくらいの変態ですねえ、

このドMの豚ちゃんはある……。

クリスタ

はあはあ……王子……。

もう、随分とご立派になられて……。

おちんちんを大きくする薬がしっかり効いていますね。

元のおちんちんが、

どんな形か分からなくなるくらい、下品に大きくなって……。

いいえ、これはおちんちんなどという可愛い呼び方ではなくって、おちんぽ様と呼んでもいいくらいですわね。

はあ……

右耳で囁く（無音）

王子のおちんぽ様、

快樂を追い求めることを辞めないところがとっても素敵

あなたの進む肉欲を、すべてわたくしにぶつけてください……

通常の位置に戻る

きやつ いきなり乱暴にまんぐり返しをして……

そんなにわたくしのおまんこが見たいのですか？

はあ……っ、わたくしのびちよびちよおまんこが

丸見えですわ……

ああん、そんなにじっくり見ないでくださいませ

そんな肉食獣のような目で

貪るみたいに見つめないで♡

わたくしのおまんこから、

どんどん愛液が溢れてしまいます……♡

んふう、触られてもいないのに♡

このままイってしまいそう♡

でも……わたくし、あなたのおちんぽ様でイきたいですわ♡

ガチガチのおちんぽでかき回されて、

どろどろになってイキ狂いたいんです♡

だからそのまま、一思いにわたくしの中に……。

……あら？ 縄を取り出してどうなさるのかしら？

……あはっ、このいやらしい体勢のまま縛るのですね♡

あっ♡ ああん♡

縄がわたくしの体をきつく締め付けて……

はあん、気持ちいい……♡

（突如挿入する音、以降激しい水音）

っ！？ ああっあああああはああああっ！

い、いきなり入れられて、イってしまいまし、あっあああっ♡

激しいっ♡ おほおほおっ♡

そんなっ♡ 種付けするようにっ♡ じゅぽじゅぽ貫いちやだめっ♡

おっ♡ んおっ♡ おおおおおっ♡

じゅぶじゅぶ貫かれてっ♡ おちんぽ様に種付けされてっ♡

このままママになっちゃうう♡

いくっ♡ いぐうっ♡ いつ、きゅっ♡ いくいくいくっ♡

おほほはおおおっ♡ いぐうううっ!!!

アクメキメちやううううっ

イグうううっ!!!

(射精ポイント)

あっ、あはあ……しゅごおい……

せーえき、びゅくびゅくって……。

はひいっ!?

はにや、はにやフック、しないれ、くらさい……。

ほごおっ♡ 豚がつ、豚ごときが♡

人間の言葉、つかっちゃらめっ♡

ごめんらしゃいつ、ブヒイっブヒイっ♡

はひい♡ クリスタはあっ♡ えっちな雌豚れすうっ♡

王子様のおちんぽ突っ込まれるだけを取り柄の、

あわれなエロ豚れすう♡

ブヒイっ♡ ふぐうっ♡

めすぶらのっ、がばがばおまんこをお、

もっと、おちんぽしゃまれ、騾けてくらさいっ♡

クリスタ

王子……眠れないのですか？

わたくしが隣にいるから、ドキドキして眠れない……ですって？
あらあら……もう結婚してずいぶん経ちますのに。

まだ共寝することに慣れていらっしやらないの？

うふふ、可愛いひと……そんなウブなところも、とっても好きで
ではわたくしが、眠れるおまじないを教えて差し上げましょう。

さあ、目を閉じて……少し唇を開いて……そうです、
ふうーっ……ちゅっ。

うふふ、びっくりしましたか？

ちゅっちゅうっ、ぷちゅ……。

ふふ、たまにはこんな、少年少女のようなキスも

気持ちいいですわね。

ちゅっんちゅっちゅぷぷ。

はあ、体が疲れ切っていないから、眠るのも大変なのですよ。

だから、こうやって、ベッドの中でセックスして、

気持ちよくなりましょう？

そうすればきつと、柔らかな眠りが

あなたを連れて行ってくれるはずですよ。

んちゅっちゅう、ちゅるる……。

体から力を、抜いてください。

そう、お上手……。

そうしたら、舌もとっても柔らかくなって……

もっと気持ちよくなれますよ。

ちゅっちゅぷっちゅるるるっれるお。

ふふ、王子のおちんちんも反応していらっしやるわ……。

右耳で囁く（無音）

はあい、こすこす、しゅっしゅ。

上下にしごいて、

時々亀頭の周りをくるくるして、先っぽをつんつんして……。

ふふふ、可愛いお声……どんどん、出してくださいませ。

しゅっしゅ、しこしこ。

どんどん気持ちよくなってくださいませ。

愛しいあなた……。

わたくしにも、触ってくださいませ……。

わたくしの下品で大きな胸を……はあんっいきなり乳首を掴む

のはダメですよ。

ゆっくりこすこすしてください、円を描くように……そう、上手ですわ。

通常的位置に戻る

はあ、ああ……

おまんこが、むずむずして仕方がありませんわ……。

王子、わたくしのはしたないおまんこも、

触っていただけませんか？

(水音)

はぁあんっ、はぁっ、きもち、気持ちいいです……うっ

王子のえっちな指の動き……とっても気持ちが良いですっ

はぁっはぁっっ あはぁ、はぁぁ……っっ

ぁぁ、王子、王子……っ。

わたくし、もう我慢できませんわ。

どうか、わたくしのおまんこの中に……。

(じゅぶぶぶっという音)

ぁぁーっっ！っっ

王子のおちんちんを入れただけで、
簡単にイってしまいましたわっ

はぁ、そのまま、動かして……

っぁぁぁっっ、はぁんっ、ぁぁんっ

はぁ、王子、王子いっっ

きす、キスしてつくださいっ

ちゅっむちゅっはぁ、はぁぁっ、

きもちっつきもちいいですうっ

ふたりで、いっしょにイきましょう？

んぁぁっ、ぁっ、

イクっイってしまいますっぁ、

王子、あいして、愛してますわっ！

イクっイっちやううっ

(射精ポイント)

(3秒間)

……寝て、しまわれましたね。

まるで、初めて出会った日のよう。

ああ、王子、わたくしの愛する旦那様。

このまま、どうか永遠（とわ）に、そばにいらさせてくださいね？

パターン⑩

ふふ、王子、もういきたくてたまらない、という表情ですね。
いきたくていきたくてえ……

おかしくなってしまうそうですかあ？

ああ……そんなお顔もとっても素敵。

ですが……あまりに我慢させすぎるのは体に毒というもの……。
いいですよ、我慢せずにいってく・だ・さ・い
さあ、いってくださいな

パターン⑪

いきたいですか？

でもダメです、まだイかせてあげません

泣いて許しを請うたら、考えてあげますよ

……あら、そんな簡単に頭を下げてしまわれるの？
ざあんねん。

でもそれだけ我慢できないってことですね

仕方がありません、いくのを許可してあげますよ
どうぞ、いって

パターン⑫

なにイきたいだなんて贅沢なことを言っているんですかあ？
豚以下の生物ごときが、イクのを許可して貰えらとでもお？
ウフフっ！あまりにも傲慢ですねぇ……。

人のようにい……イクだなんていう綺麗な言葉あ。

使ってはいけませんっ

クソ豚ちゃんはあ……っ

これからイクではなくイかせていただくという自覚を
持ってくださいねっ

ああっ！かわいいっ！そうそう！その顔お！たまらなあい！

ほらあっイかせて貰えるのですから鳴いてくださいなっ

ブヒブヒ鳴いて、醜い射精を見てもらいなさい。

ほら、いっちゃえっ！

パターン④

「ああ王子……そんなに汗をかいてどうされたのですか？
イきたいのですか？

そのままおちんちんから精液を出したいのですね？

うふふ、いいですよ。

わたくしの口でも、おっぱいの中でも、

おまんこの中にも出してくださって構いませんよ。

では、あなたが望むところに

あなたの熱い精液をぶっかけてくださいませっ

パターン⑤

あっっ はあんっっ

王子っ王子いっっ

好きですっ、愛していますっ

どうしようもなく好きなんですっ♡

だからあっ中に出してっ！

そして一緒にイッてくださいなっ♡

好きっ好きっいっしよに、イクっイクううっ♡

パターン⑥

そろそろ12時の鐘が鳴りますわっ♡

このまま二人で、一緒に行きましょうっ♡

すべて解き放って……どこまでもイってしましましょうっ♡

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1……

(12時を告げる鐘の音)

んほおおおおおっっ♡

イぐうううううううううっ♡